

ストップ戦争法案 全国1000ヵ所以上で行動



8月30日、「違憲立法を許すな！安保法案に反対する緊急市民パレード」に参加する渡辺議員（中央）

8月30日は全国で戦争法案反対の声があふれました。国会周辺では12万人、全国では100万人行動として1000ヶ所以上で一斉行動が取り組まれました。

山形市では、山形県弁護士会主催の「違憲立法を許すな！安保法案に反対する緊急市民パレード」が行われ、県弁護士会の安孫子英

彦会長の主催者挨拶に続き、リレートークで山形大学准教授や元山形地裁裁判官などとともにシールズ東北のメンバーの女子学生も安保法案反対を訴えました。集会会場の文翔館広場にはかわらぬ約1000人の参加者が集まりました。子ども連れや老若男女それぞれが「友人に聞いた」「山形でもあるというので参加した」など、何とかしなければとの思いを語っていたのが印象的でした。パレードで「戦争法案反

こんにちは

渡辺ゆり子

2015年9月6日
-6号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

県議会閉会中委員会が開催され、8月20日の厚生環境常任委員会では、生活困窮者自立支援制度や子どもの学習支援について取り上げました。4月からスタートした生活困窮者自立支援制度は福祉事務所ごとに相談を受け付けて支援プランを作ることや住宅確保支援などの事業を実施しています。

生活困窮者自立支援制度
子どもの学習支援

対「憲法を守れ」と声を上げると街行く人や車中からそれに呼応した合図が送られ、市民の安倍政権の強行姿勢に対する怒りが広がっていることを実感した行動となりました。全国とともに何としても戦争法案阻止に力を合わせましょう。

置賜総合支庁、学習支援は米沢市と村山、置賜の両総合支庁で行っている」と答えました。私は、「全国の中間とりまとめでも任意事業の県内の取り組みが広がっている。特に、学習支援は、全国では30%以上で取り組んでいる」と指摘し、さらなる展開、取り組みを求めました。長岡課長は、「これまでも各福祉事務所には話しているが、研修会などノウハウを共有し取り組みを広げていきたい」と答えました。

生活困窮者自立支援制度
子どもの学習支援

「介護利用料2倍になった！」の訴え
夫が特別養護老人ホームに入所しているという方から訴えです。介護保険改悪によって、利用料軽減できず、今後の利用が難しくなるとの訴えが寄せられています。

私は、また「子どもの貧困対策が課題となっているが、ひとり親家庭の学習支援についても市町村の現状の把握をすべきではないか。その上で、計画に反映すべきと質しました。堀広幸子なども家庭課長は「現在村山市などで実施している学習支援に対し、県としても支援しているが、県内の市町

米沢市と村山、置賜の両総合支庁で行っている」と答えました。

8月から利用料が倍になる補給付が受けられなくなるので、他なりません。社会保障費を削減し、戦争法案施行には熱心な安倍政権、まさに命を守るために、人間としての尊厳をかけて「アベ政治許さない」の声を地方政治の場からもあげて行きたい。

8月28日、山形県農民連（花鳥賊義廣会長）の県への要請、懇談に同席しました。要請書を手渡したあと、今年の米価の見通し、ナラシ対策の補填状況などの現状、県としての米価下落対策、国への要請などについて話し合われました。農民連からは、県の昨年度の種もみ助成の支援を評価しつつ、それぞれの農家の

9月定例会は9月14日（月）開会予定です。請願締め切りも同日です。県農民連の要請行動に参加

用を抑制するものになりません。社会保障費を削減し、戦争法案施行には熱心な安倍政権、まさに命を守るために、人間としての尊厳をかけて「アベ政治許さない」の声を地方政治の場からもあげて行きたい。

